



沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品分野で、新たな産学官連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。

今回は「沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化」をテーマとして、産学官の研究機関から、最新の技術シーズを御紹介します。

なお、セミナー当日は、特別講演において、知的財産を活かした産学連携と6次産業化の事例、戦略等について御紹介し、セミナー終了後には、講師やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時： 平成26年12月19日（金） 13：30～17：30

会場： 那覇市上下水道局庁舎「みずプラッサ」B棟3階 厚生会館多目的ホール
(沖縄県那覇市おもろまち1-1-1)

参加費： 無料（個別相談会も無料）

※配布資料の準備の都合上、参加希望の方は12月16日（火）までに事務局までお申し込み下さい。
なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催： (公社)農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催： 沖縄農業研究会

プログラム

【挨拶】 (公社)農林水産・食品産業技術振興協会 13:30～13:35
沖縄農業研究会

【特別講演】

「知的財産を活かした産学連携と6次産業化」 13:35～14:20
奥野 彰彦 氏 (SK特許業務法人 代表社員 弁理士)

【シーズ紹介】

1)「瞬間的超高压を利用した沖縄県アロマアイランド化構想」 14:20～14:45
伊東 繁 氏 (国立沖縄工業高等専門学校 校長)

2)「サクサクとした新食感の黒糖の製造技術」 14:45～15:10
前田 剛希 氏 (沖縄県農業研究センター 農業システム開発班 首席主任研究員)

3)「沖縄での展開が期待できる『屋内型エビ生産システム』」 15:20～15:45
首藤 宏幸 氏 ((独)国際農林水産業研究センター 水産領域長)

4)「農業ICTによる沖縄特産農産物の生産管理」 15:45～16:10
銘苅 幸夫 氏 ((株)ユニバーサルブレーションシステム 社長)

5)「日本一おいしいパイナップルの生産とネット販売」 16:10～16:35
川満 弘信 氏 (西表パイン園 代表)

※特別講演、シーズ紹介の概要は裏面をご覧ください。

【農林水産省の競争的研究資金に関する情報提供】 16:35～16:45
(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

【個別相談会】 16:45～17:30

共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に講師やコーディネーターが対応致します。
(セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関する
ご相談全般に対応致します)

【特別講演の概要】

「知的財産を活かした産学連携と6次産業化」 奥野 彰彦 氏 (SK特許業務法人 代表社員 弁理士)

(講演内容)

大学発ベンチャー企業(東証マザーズ上場)による「発芽玄米→GABA→チョコレート」、「ミドリムシ→健康食品→ジェット燃料」等の先進的な6次産業化の成功事例について紹介すると共に、農林水産・食品分野の6次産業化において有効な「売ってから作り、作りながら開発する」という「セミドライテストを用いたマーケティング戦略」、「ハロー効果を重視した産学連携戦略」、「マーケティング志向型の研究開発戦略」について解説する。産学連携の際に知的財産権の面で注意すべき点についてもあわせて解説する。

【シーズ紹介の概要】

①「瞬間的超高压を利用した沖縄県アロマアイランド化構想」

伊東 繁 氏 (国立沖縄工業高等専門学校)

(発表内容)

瞬間的超高压を、植物組織細胞に負荷させ、組織を内部から破壊させると、組織内にある成分が比較的容易に抽出される。この技術を沖縄県由来の月桃やその他に応用して沖縄県のアロマアイランド化を図る。

(マッチングの方向性)

- ◆ 技術移転先を見つけたい
- ◆ 研究のための資金提供元を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (抽出技術)
- ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 商社

②「サクサクとした新食感の黒糖の製造技術」

前田 剛希 氏 (沖縄県農業研究センター)

(発表内容)

黒糖を固める時に、減圧脱気しながら固化させると、膨張して密度の小さな黒糖が得られる。中に空隙を多く含むこの黒糖は、サクサクした軽い食感を持ち、従来の黒糖と比べて弱い力で簡単に崩れ、水にも溶けやすいという特徴を持つため、様々な商品への展開が期待される。

(マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい
- ◆ 技術移転先を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (黒糖製造業者、菓子メーカーなど)

③「沖縄での展開が期待できる『屋内型エビ生産システム』」

首藤 宏幸 氏 ((独)国際農林水産業研究センター)

(発表内容)

産学官連携により開発された「屋内型エビ生産システム」は、環境に優しく、安心・安全なエビを安定的に生産できる閉鎖循環式陸上養殖システムである。気温の高い沖縄での展開には、加温コスト削減のメリットがある。

(マッチングの方向性)

- ◆ 技術移転先を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 商社
- ◆ 製造業 (第三セクター)

④「農業ICTによる沖縄特産農産物の生産管理」

銘苅 幸夫 氏 ((株)ユニバーサルブレインシステム)

(発表内容)

農産物の生産管理にICTを活用する事で様々なデータの蓄積が可能となり、そのデータを分析する事で農業ノウハウの明確化と生産性向上が期待できる。農業ICTへの取り組みを沖縄特産農産物の事例を交え紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい
- ◆ 技術移転先を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 情報・IT関係者

⑤「日本一おいしいパイナップルの生産とネット販売」

川満 弘信 氏 (西表パイン園)

(発表内容)

イリオモテヤマネコの生息する西表島の気候風土を活かし、大自然のもつ治癒力を活用して化学肥料や農薬を減らしたパイナップル栽培を行っている。コストを抑え作業効率を高めるための機械化への取り組みや、売れ残りの無いネット販売などについて紹介する。

(マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

(マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (農業機械メーカー)

◆事業化を加速する産学連携支援事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究、事業化を活性化するため実施している事業です。全国に農林水産・食品分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

【事務局】(公社)農林水産・食品産業技術振興協会
産学連携事業部 川畑・酒井・佐藤
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 26 年度 事業化を加速する産学連携支援事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (12/19 開催)

沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

会場「那覇市上下水道局庁舎」案内図



住 所：沖縄県那覇市おもろまち1-1-1

TEL：098-941-7801

交 通：沖縄都市モノレールおもろまち駅 下車徒歩 10 分

平成 26 年度 事業化を加速する産学連携支援事業 アグリ技術シーズセミナー in 沖縄 (12/19 開催)

沖縄の技術シーズを活かした地域産業活性化

参加申込書

宛先：(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会 産学連携事業部

E-mail：renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX：03-3586-8277

(E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： _____

勤務先： _____

部署・役職： _____

住 所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

E-Mail： _____

個別相談会希望： _____ () (希望される方は○印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

※申込書の取り扱いには本セミナー実施に係る業務にのみ限定し、目的以外には使用致しません。